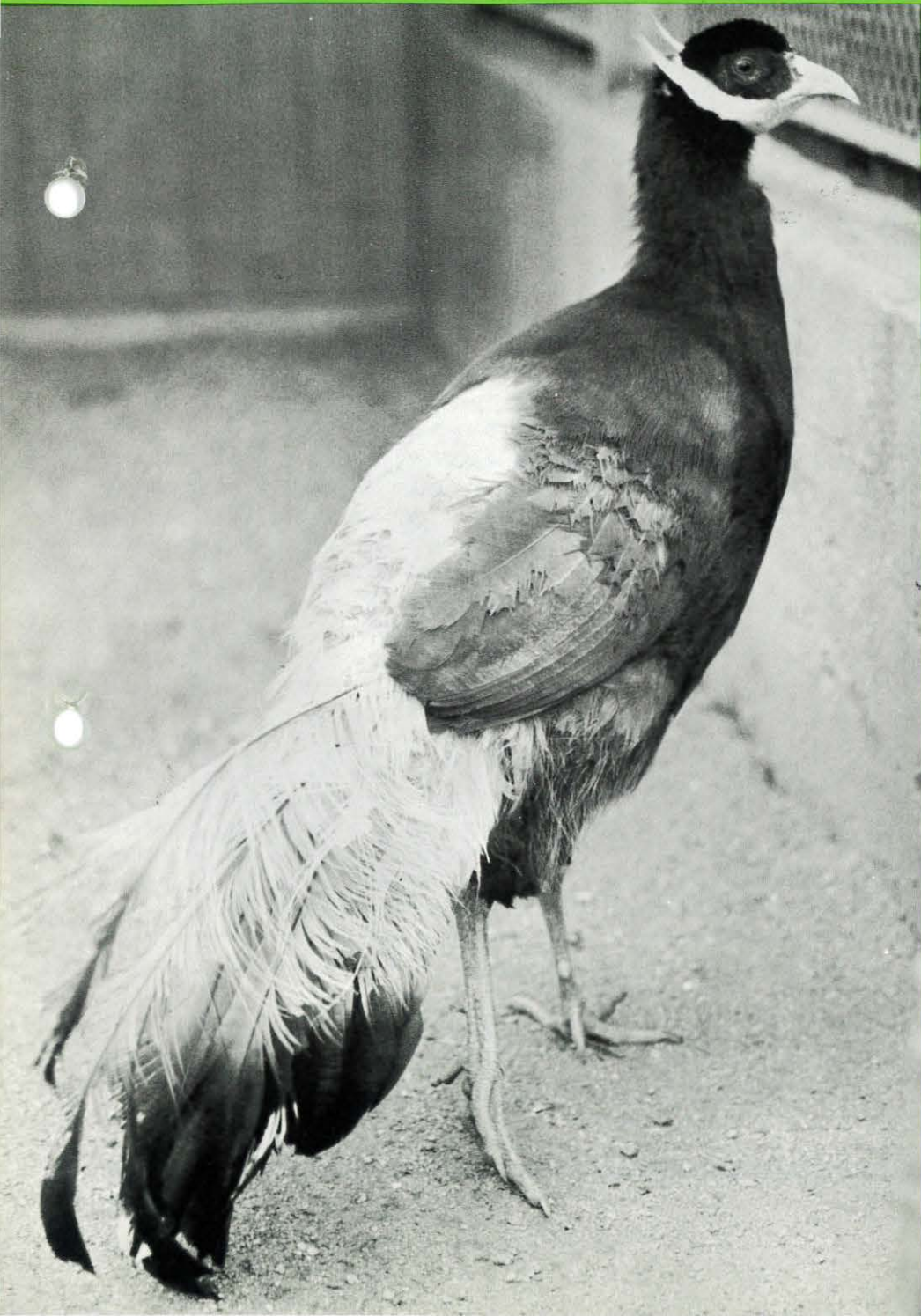


# なきごえ



1975

5

大阪市  
天王寺動物園協会

# 動物と私

野鳥との連れづれ 阪本 源太郎

幼い頃の思出は懐しい。京都東山の円山や將軍塚（東山の頂）南禅寺の原っぱや丘、林や小川、草、木、花、鳥、犬、魚、虫、等の中で私は育った。加茂川に「キセキレイ」が歌って、眩しい夏の陽射しに白いお腹を出し昼寝をしている小魚を掬った事も昨日の様に思える。知恩院（真宗大本山）の境内で、松桜楓の小枝から小枝へと斜めになり逆になり啄いたり跳ねたりと、サーカスをそのままに渡って行った「四十雀」の群れを追って頭の帽子が行方不明となり亡き母の大目玉を戴く。（昭和五年頃）「カワセミ」は川筋に棲むコバルト色の美しい鳥で雀位の大きさ、小魚を常食としている。小枝より水面の餌を狙って飛び込む……元の小枝に舞戻ってからくわえた小魚を一呑みにする。……一幅の四條画である。…「ケリ」はチドリ科の鳥で鳩位だが背が高い。四月下旬頃田で繁殖する。営巣は田の畝に切藁を敷き円座を作って花卉の様に四卵が雛により抱卵されている。雄は近くで警戒と採餌時の交代抱卵が任務。巢に危険を感じるとその相手に敢然と立向う。身に余る相手であると特有の偽傷を始める。鋭い叫び声、片羽を波立せて斜形となり舞う様にして誘導移動を続け巢の安全地点迄連れ出すとパッと飛び去る。しかしこの偽傷に関心を示さない相手には、近接し拳の果は喊声をあげて襲撃する。実に勇敢な鳥である。トビやカラスが近くを飛ぶと常に空中戦を挑み執拗に襲撃し之を追払う。……ケリがつく。の語源か？…と一考。長野県十三屋の「チョウゲンボウ」岐阜県洲原神社の「姿のブッポウソウ」……記して尽きない物語ばかり。……あの頃（昭和十八年）少々の出来が悪くても兵隊にしてくれた。志願する英雄もいた。天皇の「て」という言葉を配属将校より聞いた途端、不動の姿勢を取らなければ制裁を受ける御時世であった。鳥、空翔ける鳥になりたかった。戦争のない国に住みたかった。こんな心掛の悪い兵隊がシンガポールよりビルマを経て印度に行軍していた。濃紺の夜空に星屑が降る右肩を落した南十字星が銀河より姿を消す頃、トッケイトッケイトッケイと哀調のある鳴き声が林立する椰子の梢より流れる。この声の主、まさか「大トカゲ」（体長二米弱）



の恋歌とは知らなかった。夜の歌である。……赤い鳥青い鳥がジャングルに飛び交い野鳥の飛翔力に驚いたり、「サソリ」が脱いだ靴の中から出て来たり、雨季の最中我々は命からがら来た道を引返していた。その名「白骨街道」と人は言う。チンドウイン河の澱みには流れ着いた戦友の遺体が渦を巻いて、「カラス」が群れている。悲しい事だった。不思議に命永らえて捕虜生活が始まる。慰めにと「ハシブトカラス」の雛を戦友が飼った。間もなく二万羽以上のカラスの大軍が空を覆って激しい威嚇と叫喚の雛奪回作戦を始めた。約一時間、流石の歴戦の勇士も雛放鳥に依り難を免れた。貴重な体験をした。宇品に復員した。（昭和二十二年夏）それから又探鳥の旅が続く。箕面勝尾寺、信州戸隠、富士山麓須走、伯耆の大山、鍋田の干拓地、松江宍道湖、日本国津々浦々迄水辺や山や野の鳥を訪ねて多くの知友を得た。心に残る人、全生涯を野鳥の保護に捧げた人、鶴の防人、九州出水荒崎の人、故岡田孫市先生。自称「学歴なし健康で貪乏」本職は石屋さんで鶴と焼酎をこよなく愛された。厳寒の二月、鶴を守って（密猟者の為）凍て付く夜、鶴と鳩を共にした幾夜は焼酎が命の綱であったと言う。こんな事は戦後数年繰返された由。こよなく鶴を愛し野鳥を愛し、遠くシベリアに季節の風に乗って渡って行った鶴達の後を追う様に忽然と鬼籍に入ってしまった岡田さん、心より御冥福を祈ります。

ハンターが国鳥を撃つ。各都道府県は競って混血雉を粗製乱造して税収を図る。松食虫退治と空中より散布する薬剤に、全生涯を害虫を常食としている「ヤマガラ」「キツツキ」その他大勢の虫食科の鳥達はその薬剤散布地域一帯で全滅する。害虫に悩む山や野や林の木々が此の現実の悲哀に貫き泣きをしている。かくて昭和五十年の春とはなった。

なきごえ5月号もくじ

動物と私	2
カバの赤ちゃん	3
動物園グラフ	4・5
天王寺のどうぶつたち(4)	6・7
バードウィークに因んで	8・9
動物相談室(14)	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“チャイロカケイ”

中国北部の山間部にすんでいる珍しいキジの仲間です。このカケイは国際的にも保護が加えられています。



“カバの赤ちゃん”

3月28日、無事カバの赤ちゃんが生まれました。

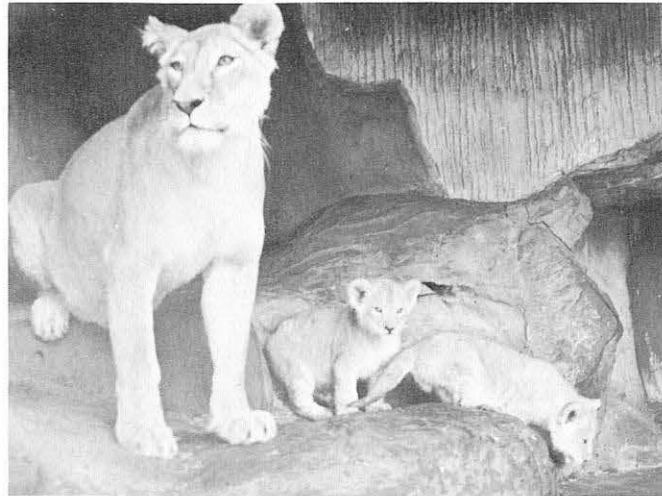
4回目の出産で、母親も慣れたもので、赤ちゃんは元気に育っています。

# 動物園グラフ

## “赤ちゃん誕生”

春は動物たちも一段と生気をとりもどしますし、赤ちゃんの誕生も相ついでにいます。

これまでのところ、写真のような赤ちゃんが生まれて元気に育っています。



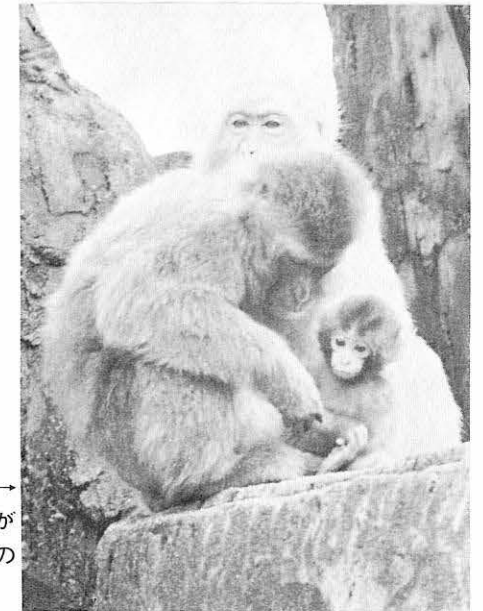
↑エチオピア ライオン  
おすすめ2頭の赤ちゃんは白っぽい毛で被われて大変あいくるしい



←  
バーバリシープ  
赤ちゃんでも急なガケを上手に登り下り、母親も細い目で見守っています。



↑ジャカル  
5頭も生まれました  
今度も母親が上手に育てました



ニホンザル →  
サル島で毎年5～6頭が生まれて、母ザルの胸の中で育っています



カバ →  
室内プールで、お乳を飲んだり母カバの鼻先でひる寝をしたりしています

## 3・4月の動物園日記

- 3/24. コクチョウのメスがひどい腸炎をおこして死亡しました。
- 25. アカカンガルーのオスが右の眼結膜を傷つけてかなり出血したので、捕えて治療しました。
- 26. イノシシのメスは治療していますが、跛行はひどくなるばかりです。  
アオボウシインコ1羽の寄贈がありました。
- 28. カバが出産しました。  
ビューマが交尾しました。
- 29. 同居させているライオンとトラが交尾しました。

- 30. ミヤマカンムリクマタカ1羽の寄贈がありました。
- 31. マクジャクのメスがオスに攻撃されて後頭部に裂傷を受けたので、消毒して縫合してやりました。
- 4/3. 治療中のイノシシのメスが死亡しました。解剖した結果、後肢の麻痺は関節捻挫と分りました。
- 4. バーバリシープが1頭生まれました。  
シュバシコウ2番いとアオサギ1番いが現在抱卵中です。
- 5. 昨日出産のバーバリシープがもう1頭出産し、別のバーバリシープも1頭出産しました。
- 6. 12年間も飼育してきたラッパドリが脂肪過多症で死亡しました。

- 統一地方選挙のPRとして、園内で動物達の模擬投票が行なわれました。
- 8. ゴリラのメスの食欲が不振で、いろいろ薬を与えています。
- 10. 日本庭園で産卵していたコブハクチョウの卵5ヶをふ卵器に移しました。
- 11. アナグマが2頭生まれましたが、惜しくも死産でした。  
アメリカバクの採食が良くなかったのですが、きょう糞便中にビニールの塊が排出してあり、原因はどうやらこれのようです。  
春季の寄生虫検査を園内の動物全部を対象に開始

- しました。
- 12. ビューマのオスがここ1週間、全く採食しないため、研究室のスライジングケージに収容し栄養剤の注射を始めました。
- 14. ヤギのオスが尿石症を起こして排尿困難になったため、手術をして治療してやりました。
- 15. インドニシキヘビが寄生虫症(回虫)で死亡しました。
- 16. ハナグマが5頭出産しましたが、2頭は死にました。
- 20. ベニイロフラミンゴが卵を1ヶ産みました。

# 天王寺のどうぶつたち (4)

## ゾウ③

さて、今月は3頭目の「ラニー・ひろ子」のお話です。

昭和45年、大阪で万国博覧会が開かれました。その万国博を記念して、インドの政府から、日本の国の人々とインドの国の人々の友情を深めるしるしとしておくられてきたのが今月お話しする「ラニー・ひろ子」です。

2頭のお姉さんゾウはどちらもタイの生れですが、「ひろ子」はインド生れです。「ひろ子」は20~22ヶ月もお母さんのおなかの中で大きくなって生まれました。生れたところはインドの森の中です。でも、「ひろ子」が生れて4ヶ月後、かわいそうにお母さんゾウは死んでしまいました。まだほんの赤ん坊だった「ひろ子」はお母さんゾウの死体からはなれられずに、そのそばをうろうろしていました。それを見つけた、この森をかんりしているおじさんは「ひろ子」をゾウのキャンプ場につれてゆき、「パニザ」というインドの名前をつけて一生けん命にそだてました。そのころの「ひろ子」の1日のメニューは

スキムミルクパウダー	1kg
ブドウ糖	0.5kg
米	4kg



野菜 4kg でした。

「ひろ子」はキャンプ場のおじさんたちだけでなく、ここにあそびにやってくるたくさんの人々にもとてもかわいがられてスクスクとそだちました。そのせいか「ひろ子」はとても大きくなりました。「ゆり子」が天王寺にやってきたとき、1才半でせの高さは110 cm、体重203 kgだったのですが、「ひろ子」は6ヶ月でやってきて、せの高さ120 cm、体重260 kgでした。

昭和45年5月5日の「こどもの日」、「ひろ子」は天王寺にやってきました。でもそのころはまだ「ひろ子」という名ではなく、インドのおじさんたちがよんでいた「パニザ」だったのです。さっそく日本の名前をつけてあげようということになって、たくさんのおともたちがこの子ゾウの名前をかんがえました。大阪や兵庫や奈良などのようちえんのえんじや小学生が21,220人もかんがえてくれたのです。そしてそのなかでいちばんたくさん名前のあった「ひろ子」という名前をこの子ゾウの名にしようということになりました。でもせっかく日本の人々とイ

ンドの人々が仲よくなるためにインドの政府がくれた子ゾウなので、インドの名前もつけてあげようと思いました。そこでそのころ大阪市の市長さんだった中馬市長がインドのことばで「女王」といういみの「ラニー」という名を考えて、けっきょくこの子ゾウの名は「ラニー・ひろ子」となったのです。「女王のひろ子」といういみのこの名前はとてもすてきですね。



「ラニー・ひろ子」がやってきて、今年で5年目です。やってきたころはまだ赤ん坊で、2頭のお姉さんゾウたちといっしょにはあそべなかったのですが、5才になった今年からようやくお姉さんたちと仲よくあそべる位大きくなりました。今、「ラニー・ひろ子」は体重が大体1600kgもあります。きたときは230 kgだったのですから、だいたい1日に1kg

位のわりあい大きくなったわけです。

お姉さんゾウたちといっしょにあそべるようになった「ラニー・ひろ子」はいま、毎日がたのしくてしょうがありません。よるがあけるころとても早起きの「ひろ子」は目をさまします。そして世話をしてくれるしいくがかりの楠本さんと東さんが来てくれるまでひとりでへやの中であそんでいます。そしておじさんたちがきて、広いうんどうじょうに出してもらおうとお姉さんたちといっしょにプールに入ったり、ふざけっこをしたりして1日中たのしくあそびます。「ひろ子」は小さいころときどきげりをして、しいくがかりのおじさんたちをずいぶん心配させたのですが、いまではすっかりじょうぶになって冬の間もプールの中に入って水あそびをするようになりました。

さむかった冬もおわって、これからドンドンあたたかくなります。ゾウさんたちの大好きな夏ももうすぐです。みなさんも今度どうぶつえんにきたときは仲よくあそぶ3頭のゾウたちをぜひみてあげてください。



(飼育課 長瀬健二郎)

## バードウィークに因んで

動物園緑化に実のなる木を 尼崎 斐呂詞

某日、天王寺動物園に遊んだが、近ごろの動物園は関係者の努力により、近代化への脱皮が行われ園内全般から受ける感じは、一口に表現すればスッキリしてきたと言えるようである。聞くところによればシーズンのピークには拾余万人の入園者を送迎する日も珍しくないという盛況である。これは園の内容が充実し大阪市民の期待に答えたものといえよう。ところが、動物園に行かれたならば不気味な建造物によって、立派な園の環境がひどく損われていることに気づく方が多いと思うのである。自動車の通行量が多い高速道路が園の西辺上空を圧しているが、西風の日が多い大阪では、この道路上の自動車排気ガスの大部分は動物園内に降下充満していると見られる。大切な動物達の生きる権利がどうなっているのか、これが最も気がかりである。現状では無防備に等しいのではと思われる。これの対策としては現在の動物園の緑の量を更らに増加する以外に打つ手はなく、事態は急を要する段階にきているのである。快適な生活を人間のために考えると同時に動物愛護の立場から緑化の拡充については実行力を発揮してほしいと切望する次第である。排気ガス規制の法律化を気長く待つということは、百年河清を待つというに等しい。最近では都市の自然復活について関心が非常に高くなってきた。都会へ野鳥を招待して、砂漠化した都会にうるおいを取り戻そうと各方面でプランが企画された。野鳥を呼ぶためには、緑化の拡充が行われなければ駄目である。それも緑なら、どんな樹種でもということではない。現在の大阪市内の街路樹に使われている公害に強い仲間は野

鳥誘致の面からは不適當である。赤い実や黒い実、紫の実がなる木の仲間を選定することである、これ等は都会から排出される諸公害に対しては街路樹仲間に比較して抵抗力が劣るものが少なくないが、見方によっては公害測定器の様な役割をもっていることになる。公害に強い樹種を植樹すれば化学的知識に弱い多くの人達は木が必死に公害に抵抗している姿を知らずに、木が育っているのだから公害は大したものではないと誤認するだろう、之が問題である。動物園の緑化度を向上するとしても、発想の転換が問題になる。動物園とは何か、動物園は誰のために存在するのか、地球上の宝である動物達の生命を大切にするのか、人間優先のための奉仕を第一とするのか、限りある動物園の中で緑のための面積を割り出すためには当事者の英断が注目される。仮に密度の濃い緑化が実行されて天王寺森林動物園とでも呼ぶにふさわしい変身が行われるとすれば、隣接の新世界一帯との夏季に於ける気象的变化はどうなるか、地上1・5米の温度は園内の方が約4度低くなり、夏季特有の不快指数も園内ではしのぎやすくなる。更らに園内の地表面湿度は約3度低くなるものと予想される。この気象的效果が飼育動物に及ぼす良結果は多大なものがある筈である。寿命の延長、園内の緑の増加が動物達にあてる心理的效果も大きいと考えられる。冬には防風にも役立つほか、実のなる木という特性で待望の野鳥群が動物園内に集結し、園としては新しい景観の実現となり、これが都市の自然復活の原動力となって都会の性格に変換をもたらすことにもなる。自然を知らない人々への自然開



眠、動物愛から人間愛への向上へ、不祥事の多い現代生活の救いとなれば、これに勝るものはない。

話題を変えて、実のなる木の招鳥効果について一例を述べることにする。わが家の小庭には15年生のヒマラヤ・ピラカンサがあって、三幹にわかれ軒を越す高さに成長している。冬季には真紅の小果が樹全体を紅一色に染め変える程について美しい姿を見せてくれる。結実をはじめて5年ほどは野鳥たちの記憶にいられてもらっていなかったらしく毎年3月末に黒変した小果をムシリ取るのが私の春の仕事の一つでもあった。ところが野鳥達の来訪がはじまつてからは正月前後から3月末までのピラカンサの眠いは大変なものでツグミ・ヒヨドリ・ジョウビタキなど、年によってはキレンジャクもやってくる。ピラカンサの味は野鳥の好みにピッタリらしく3月末には一粒残らずになくなってしまう。実をムシリ取ったところはトゲに指をひっかけたりしたが私は春の仕事から解放されたのである。野鳥達が実を食うことが開花のための手入れとなりピラカンサは象牙色の群小花で飾られることになる。そのほかシナヒイラギ・ナンテン・アオキ・ムラサキシキブ・マサキ・ネズミモチ等の小樹があり餌料になっている。ネズミモチ・クスノキ・シュロは野鳥達からのプレゼントであるので大切にしている次第である。小庭でも招鳥のために配慮すれば以上のような効果が上がるのであるから動物園という広域での野鳥を招くための実のなる木の植樹が望まれるのである。招鳥のために役立つ木は数多くあるが、つぎにその一部を列記する。

ヒマラヤ・ピラカンサ・タチバナモドキ(ピラカンサの在来種)、モチノキ、シナヒイラギ、ナンテンギリ(イイギリ)、ウメモドキ、ニシキギ、ムラサキシキブ、ガマズミ、エゴノキ、マユミ、ナナカマド、ソヨゴ、ニレ、ハクウンボク、クロガネモチ、ハナミズキ、ホソバタブ、カラタチバチ、アラカシ、ヤツデ、ネズミモチ、オオガメノキ、イヌツゲ、ヒイラギ、クスノキ、マサキ、エノキ、ミヤマカイドウ(ズミ)、シュロ、ハゼノキ、ナンキンハゼ、トガ(ツガ)、ナツツタ、アケビ、ヤマモモ、カキ、アンズ、ナシ、マメガキ(シナノガキ)、ユスラウメ、ナンテン、アオキ、クチナシ、ヤブツバキ、雑樹。

現在の芝生、花壇等も人間用のものでありこれらは気象的效果をもたらすものではないので拡大せずには出来れば緑化に充当できないものだろうか、園芸品種は人間の観賞用にと改良という名のもとに改悪されたものである。ツバキを一例にとれば豪華な花をつける品種の花のあとの見ぐるしさに引きかえ在来種のヤブツバキは野鳥の吸密にも役立つし日本の花容に好感がもてるものである。園内の高速道路の灰色の脚も怪物の感があり外周を格子枠で包囲して、橋脚下でも育成できるツル性植物で被覆できれば幾分の救いになるものと考えているが配慮を期待する。しかし豪華な花が咲くツルバラを使いたくなるのが、ご時世であるが人間優先をストップして、緑化と野鳥のために役立つ樹種が選定されることを望んでいる。

(生きもの趣味の会々員)

## 動物相談室 (14)

今回は昨年度1年間(昭49年4月～昭50年3月)に受付けた動物相談の統計をとってみました。

昭和49年度の動物相談総受付件数は2289件で、昭和48年度の2368件、昭和47年度の2791件に比べ少し減少しました。

動物別にみますと

- ・鳥類に関するもの ..... 959 件
- ・哺乳類に関するもの ..... 782 件
- ・ハ虫類に関するもの ..... 366 件
- ・両生類に関するもの ..... 23 件
- ・魚類に関するもの ..... 11 件
- ・昆虫に関するもの ..... 8 件
- その他 ..... 140 件です。

一応、哺乳類、鳥類、ハ虫類に関しては相談を受付けるわけですが、両生類、魚類、昆虫類になりますと、当園で飼育していない関係上、確答できないものが多く、水族館、博物館の方へ問合せをお願いする場合があります。

S. 49

S. 50

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
件数	154	144	206	285	302	335	143	187	68	129	196	140

7、8、9月に相談が多いようですが、この原因の1つには夏休みに入って子供たちが動物に接する機会がふえることと、夏休みの宿題を動物園に問合せて手助けしてもらおうということから問合せがふえるものと思われます。

12月、1月は年の暮、正月となにかと忙しく、動物にかまっている時間が少なくなるせいでしょう。

動物相談を種類ごとに分けて、多いものから順にベスト20まで下の表に載せてみました。昭和49年度で一番多かったのがオオム、インコ類の病気に関するもので、234件もありました。電話での相談だけに、実物を見ないで適切な治療法を指示することはなかなか困難なことです。飼主の方が、その病気の特徴的なことを言っていればいいのですが、どこが悪いのか分からないがどこかおかしい、などとなぞなぞみたいなことを言われても、こちらはさっぱり分かりません。このインコ類の病気で多かったのはカゼが圧倒的でした。原産が熱帯などの暑い地方のものだけに、日本に来てその空気の悪さと寒さで呼吸器系統がやられるらしく、すぐカゼをひくよう

です。次に多かったのは皮膚病で、中でも疥癬とよばれるダニの一種が、口ばしの付根や目の周囲に寄生する病気が多いようでした。

全体的にみた特徴としては、オオム、インコ類の病気に関する問合せが倍増したと、イヌ、ネコの病気に関する問合せが3倍近くに増加したことがまずあげられます。又、野鳥に関する問合せも倍以上に増加しており、市民の方々がそういった野鳥などに関心を持たれる傾向にあることは、喜ばしい限りです。

反対に、昨年春に各地で起ったサルの赤痢事件のせい、サルの飼育に関する問合せが激減し、又、病気の問合せも赤痢が下火になったせい、一昨年度の半分ほどになりました。

昭和49年度 動物相談受付件数 (ベスト20)

順位	相談内容	件数	48年度件数
1	オオム、インコ類の病気に関して	234	122
2	ウサギ及び、げっ歯類(リス、ハムスターなど)の飼育に関して	156	163
3	カメ類の飼育に関して	135	149
4	イヌ、ネコの病気に関して	126	46
5	小鳥(オオム、インコを除く)の病気に関して	117	148
6	イヌ、ネコの飼育に関して	113	
7	小鳥(オオム、インコを除く)の飼育に関して	111	114
8	オオム、インコ類の飼育に関して	90	47
9	野鳥に関して	88	39
10	カメ類の産卵ふ化に関して	69	58
11	ウサギ及び、げっ歯類の病気に関して	66	85
12	ニワトリ、キジ類の飼育に関して	59	95
13	ヘビ類の撃退法について	49	42
14	アヒル、カモ類の飼育に関して	38	39
15	サル類の病気に関して	35	64
16	ヘビ、トカゲ、ワニ類の飼育に関して	35	
17	イタチの捕獲、退治法について	34	
18	ハトの飼育に関して	31	55
19	キジ類の卵のふ化方法に関して	29	51
20	猛きん類の飼育に関して	29	40

(飼育係 宮下 実)

\*動物相談の受付は平日の3時～4時の間で電話番号は06-771-8402です。

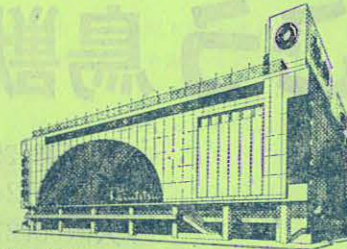
## 夢が広がるショッピング…… 近鉄がお届けします



上本町近鉄 TEL. (06) 779-1231

アベノ近鉄 TEL. (06) 624-1111

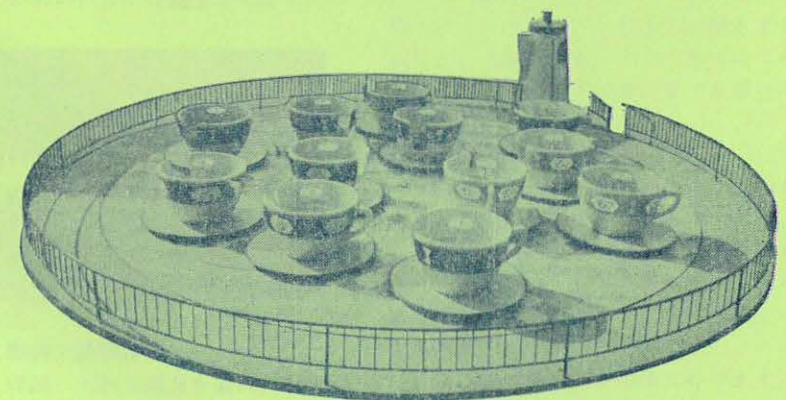
奈良近鉄 TEL. (0742) 33-1111



東京近鉄



## 遊園施設委託経営・製作・販売



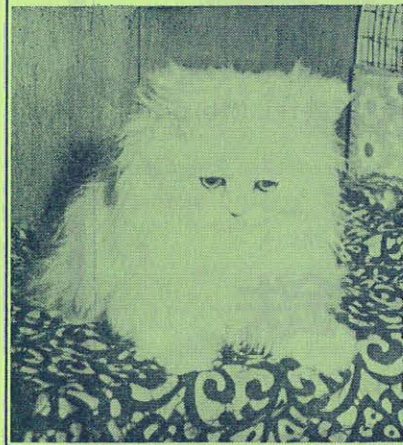
## 久竹娛樂株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40  
電話大阪(06)541-3112・3938番

バ  
動物  
某  
は関  
内全  
りし  
ばシ  
る日  
容が  
とこ  
によ  
とに  
量が  
西風  
ガス  
れる  
のか  
に等  
在の  
はな  
快  
護の  
てほ  
律化  
いう  
が非  
砂漠  
プラ  
化の  
ら、  
阪市

# 世界の猫、小鳥と愛玩動物専門店

はく製製造卸・直輸入動物取扱い店  
各国、犬種・シャム猫・ペルシヤ猫



大阪市南区心斎橋1丁目38

## ⊗ そごう 鳥獣部

そごう百貨店屋上 直通TEL

大阪06(252)5497  
(241)9146  
大阪06(271)2221  
内線 2554

## 動物園ニュース

### ☆春のオメデタ、あいつぐ

先月号のニュースでエチオピアライオン、ジャッカル、カバの出産をお知らせしましたが、それに続くオメデタがあいついでいます。

4月4日、5日とパーバリーシープが1頭、2頭と計3頭誕生しました。今まで5頭しかいなかったのに、急に3頭の赤ちゃんがふえて、パーバリーシープの放飼場もがぜん、にぎやかになりました。

4月16日にはハナグマが5頭生まれました。2日後に惜しくも2頭死亡しましたが残る3頭は順調に育っています。

4月22日にはサル島でニホンザルが1頭生まれました。まだ後、4、5頭は生まれる予定ですので、今後が大いに楽しみです。

鳥類関係ではアオサギがトップをきって4羽ふ化しました。シユバシコウは現在6巣で抱卵中で、5月中旬頃にはごくごくヒナがかえることでしょう。



その他、カナダガンが産卵し、4個はふ卵器へ入れ、残りの卵は親が抱卵しています。又、コブハクチョウも卵を6ヶふ卵器に入れてあります。

現在ふ卵器にはカナダガン、コブハクチョウの卵以外に、マクジャク、ハッカク、ミカドキジ、ギンケイなどのキジ類の卵を入れてあり、5月中旬からふ卵器の中で次々とかわいいヒナが誕生することでしょう。

フラミンゴは4月15日頃より各所で特有の塚を作り始めていましたが、4月25日までに8ヶ所で塚を作り、4ヶ所で産卵、抱卵をしています。



### ☆地方統一選挙前に動物の模擬投票

4月13日の知事、府議、大阪市議選を前に、選挙啓発事業の一つとして、4月6日当園で動物による模擬投票が行われました。当日はチンパンジーのサクラ(3才)とオランウータンのユキ(9才)が特別仕立の衣装を着て、「必ず投票しましょう」と書



いたタスキをかけ、サイ放飼場内に仮設した投票場へさっそくと登場。大阪市選挙管理委員会より投票用紙を受取り、サインペンで何やら書きこんだ後、なれた手つきで投票箱へ入れました。投票管理者としてヤギとキノウマが立会い、1週間後の選挙にムードがもりあがりました。

### ☆外周サク補強工事完成

2月に外周サクのすき間から侵入した野犬によって、カモシカが殺されるといういたましい事故が起きましたが、二度とこのようなことを起こさないためにも、事故直後から外周サクの補強工事を行っていましたが、4月末完工しました。従来の外周サクは13cm間隔のコンクリートサクでしたが、すき間に鉄柱を入れ、すき間を6cmにして野犬が侵入できないようにしました。



### ☆上海から春の便り

昨年8月、大阪市と中国・上海市との友好、交流を深めるために動物交換を行い、当園からアシカ1つがいとフンボルトペンギン2つがいを贈りましたが、4月20日フンボルトペンギンの1つがいが産卵したという、うれしい便りが届きました。手紙によると、上海ではペンギンの繁殖はこれが初めてらしく、当園からふ化の方法などを書いた礼状を出しました。

### ☆春の動物園まつり開幕!

4月27日から春の動物園まつりが始まります。5月11日までの期間中、オランウータン、チンパンジーの演技、動物無料相談所、動物の目方を測る会、ライオンのペットネーム募集など、もりだくさんの行事が予定されています。

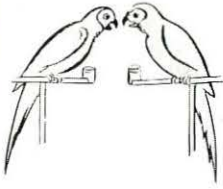
### ◎おねがい

日曜祭日は駐車場が満車になります。マイカーをやめて他の交通機関でご来園下さるようお願い致します。

### ◎お知らせ

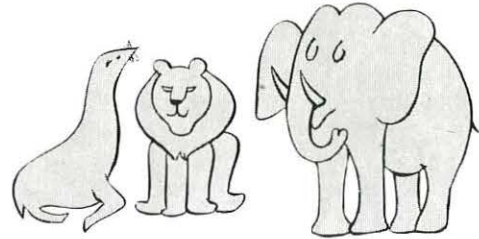
5月は19日(第三月曜日)が休園日です。

なきごえ 昭和50年5月15日発行 (毎月1回15日発行) 第11巻第5号(通巻118号)  
 編集／大阪市天王寺動物園 下543 大阪市天王寺区玉水町2  
 発行人／大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 電話 大阪 (06)771-0201  
 印刷所／株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

各140cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

〈 小谷 潔・林 邦彦・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・田上 勝・中川 道朗  
 農本 武志・深井 和美・東 政宏・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎 〉